

「百矢納め」の伝統を継承

第33回小原地区弓道大会

8月22日、小原公民館弓道場で小原地区弓道大会が開催されました。

小原地区では、市の民俗文化財に指定されている「百矢納め」が継承されています。これは、五穀豊穰・家内安全・身体健全などを祈念して、100本の矢で的を射抜く神事で、小原地区では4つの神社で春と秋に行われています。

この日は、小原弓道愛好会から13人が出場し、個人戦と「百矢納め」が行われる神社ごとの団体戦が行われました。選手らは28m離れた直径36cmの的にねらいを定め、腕前を競い合いました。個人戦では、10射中7射的中した清水玄太さんが見事に優勝。団体戦では熊野神社Aが優勝を飾りました。

個人戦優勝の清水さんは「普段はなかなかあたらないのですが、今回は出来過ぎの結果です。自分のベストが尽くせたのでよかったです」と話してくれました。



1_真剣な表情で的にねらいを定めます 2_団体戦では各神社3人が4射ずつ矢を放ち、熱戦を繰り広げました 3_個人戦で優勝した清水玄太さん

開館から3周年！

キッズランド夏まつり

8月21日と22日、こじゅうろうキッズランドオープン3周年を記念して「祝！ 3周年キッズランド夏まつり」が行われ、家族連れで賑わいました。両日とも開催された大道芸まつりでは、ジャグリング日本大会銀メダリストのプロジャグラーの結城敬介さんによるジャグリングショーが開催され、世界トップレベルのジャグリングを見た観客からは大きな拍手があがっていました。来場者は「次々に繰り出す技に圧倒されて目が離せませんでした」、「魔法使いみたいだった」と話してくれました。

また、22日には「遊びの縁日」が開催され、射的、わなげや水ヨーヨー釣りなどの昔ながらの遊びが準備され、子どもたちは各コーナーを回って楽しんでいました。

こじゅうろうキッズランドでは、皆さんが安心して利用できるように、万全の感染症対策を講じて開館しています。



1_圧巻のパフォーマンス！ 2日間通った人も居るほどでした 2_チャンスは1回！ 落とさないように、そーっと容器まで運びます 3_ちんどん屋ユニット「ちん・Don・チャン」がお祭りを盛り上げました

地域への感謝の気持ちで

白石高校吹奏楽部清掃活動

8月19日、白石高校吹奏楽部による学校周辺の美化活動が行われました。この取り組みは、部活動を応援してくれる地域に感謝の気持ちを伝えようと、毎年夏休み期間に実施。この日は、部員39人が6班に分かれて通学路や益岡公園内でゴミ拾いを行いました。吹奏楽部部長の小野叶絵さんは「地域の皆さんの理解もあって朝から音を出しての練習を行えています。これからも応援してもらえる部活になるように続けていきたいです」と話してくれました。



▲今回の清掃活動ではゴミ袋4袋分集まりました。

いつまでも自然豊かな白川を

白川地区一斉美化活動

9月5日、白川地区で通学路を含む高田川沿道と旧白川中学校の清掃活動が行われました。

白川全地区で取り組むようになって今年で4年目の活動に住民約100人が参加。この日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、各自持参した草刈り機で通学路沿道の草刈りやゴミ拾いを手際よく行っていました。白川振興会議の加藤輝正副会長は「地区民で協力して高田川を守っています。これからも地区をきれいにしていきたいです」と話してくれました。



▲慣れた手つきで道路をきれいにしていきます

みんなで過ごす楽しいひととき

白石はるかぜ保育園人形劇鑑賞

宮城県を拠点に活動している「てんたん人形劇場」が、9月15日に白石はるかぜ保育園で公演を行いました。これは東日本大震災の復興支援活動として開催されたもので、この日は園児93人が密を避けるため2回に別れて「たったか たったか たったかた」などを鑑賞。リズムカルに動く人形たちがテンポ良く進める話に園児たちは見入っていました。人形劇を見た園児は「人形がたくさん出て来ておもしろかった、また見たいです」と話してくれました。



▲「ごんぼさん にんじんさん だいこんさん」の話を真剣に見る園児たち